



## 第2回くらげパンチ作画漫画賞 課題①プロット

帯屋ミドリ

「ち～が～う～!!」

とある中学校の放課後、みんなが帰った教室で男子に向かって怒る女子。  
どうやら二人は数学の勉強をしているようだ。

女子 「何度教えたらこの問題が解けるようになるの!?」

ため息をつき呆れている。

男子 「途中までは計算できるんだけどなあ…」

頭をかき困り顔。

男子の顔を覗き込む女子、男子は少しドキッとする

女子 「そんな様子じゃいつまでたってもテストで私に勝てないわよ 前回だって私はほぼ

満点 あんたは良くて80点 私に勝つなんてよく言えたわね！」

高飛車な感じで文句を言っているが、なぜか女子は照れている。

男子 「わかってるよ…本気で勝つつもりで勉強してるよ…だって……」

照れながら口ごもる。そして沈黙。

女子 「私にテストの点で勝ったら付き合ってくださいって告白したんだものね!!」

堂々と言った割にかなり照れている。

男子もそれを聞いてさらに照れる。そして再び気まずい沈黙。

男子 「なんで俺に勉強を教えてくれるの…？」

沈黙を破り女子の様子を伺いつつおどおどと質問する。

それを聞く!? とでも言いたげな驚きの表情の女子

女子 「それがわかつたらとっくにあんたの勝ちなのにね…」

照れながら盛大に呆れる。そして男子に「いいから勉強しなさい！」と怒る。

勉強を再開し問題に集中する男子。それを呆れと照れの混じったような表情で見つめる女子。

「早く私に勝ってよね」

聞こえない声で呟く女子。